



図1 トゲナベバタムシ (*Aphelocheirus nawai*) 2020年6月21日.



図2 生息環境.

数は全国で9ヶ所あまりしか知られていない。

本種は2010年に兵庫県立飾西高等学校自然科学部のメンバーにより、夢前川水系の農業用水路での生息が確認され、平成28年、環境省の「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）500」の「No.338 夢前川右岸の水路」として認定された。兵庫県では、武庫川水系と夢前川水系で計3箇所の生息地が報告されている。

これらの報告に続くものとして、同じ夢前川水系の菅生川にて新たに1個体を確認したので報告する。2020年6月21日の午後5時頃、姫路市夢前町菅生川の菅生川本流にてトンボ目の幼虫（ヤゴ）の確認のため網を入れたところ、本種を確認した（図1）。

本種の生息地は、同様に絶滅危惧種であるモートンイトトンボ、アオサナエなどの希少なトンボ目の生息地でもあり（図2）、近年は農業用水の流入による富栄養化やネオニコチノイド系農薬の影響も懸念される。

○参考文献

石田直人・吉安 裕, 2004. 近畿地方におけるナベバタムシ属2種（半翅目：ナベバタムシ科）の生活環ならびにそれらの発育と生息環境. 昆虫（ニューシリーズ）, 7(2)：55-68.

中島 淳, 林 成多, 石田和男, 北野 忠, 吉富 博之, 2020. 日本の水生昆虫. 文一総合出版

(Makoto ISHIDA 姫路市立城北小学校5年)
(Akikoto ISHIDA NPO法人こどもとむしの会)

神戸市東灘区における2020年のクマゼミの初鳴および終鳴の記録

吉田浩史

2020年はコロナ禍の影響により、個人的に遠出をして昆虫調査を行うことが困難な状況であった。このため筆者は、仕事場への通勤や子供の送迎等の際に目撃した昆虫類を記録することにした。ただしセミ類については、過年度より記録を行っていたが、2020年夏に特筆すべきと思われる記録があったため、ここに報告する。

場所は神戸市南東部の東灘区魚崎南町で、神戸市南東部の海に近い埋立地である。筆者は家庭の事情により、2020年春から週に数回程度、同地に通うこととなった（このため、2019年以前のセミの鳴き声等の記録はない）。市街地であるが、瀬戸公園をはじめ浜公園、内浜公園等の都市公園が複数あり、街路樹も多い。このため、都市部に多くみられるクマゼミの生息には適した環境であると言える。

クマゼミ

神戸市東灘区魚崎南町, 標高約2m.

初鳴

2020年6月9日、町内の街路樹上で1個体の鳴き声を聞いた。例年よりもかなり早い初鳴記録であったため、録音を流している可能性も疑ったが、生体は確認できなかったものの、声の聞こえてくる場所から本物のセミの声と判断した。

その後しばらく、悪天候と筆者の都合により同地での確認ができなかったが、6月20日に瀬戸公園のグラウンド周辺で2個体が鳴いているのを確認した。6月23日にもほぼ同じ場所で1個体が鳴いていた。

それを受け、主に東灘区と灘区の南部で調査を行ったが、クマゼミの声は聞けなかった。魚崎南町以外での筆者が聞いた初鳴記録は、1カ月以上遅れて7月15日に須磨区須磨浦通で聞いたものであった。

兵庫県を中心としたセミの記録に付いては近藤伸一氏らにより取りまとめられている（近藤・永井, 2019; 他）。これによると、例年のクマゼミの初鳴は6月下旬ごろであり、5月の記録はなく奈良県からの2016年6月10日の報告が最も早い記録であった（近藤・永井, 2017）。

終鳴

筆者の近年の経験によると、クマゼミの終鳴は神戸市の市街地では8月20日から25日ごろであり、山地ではそれよりもやや遅れるという印象であった。

2020年はそれよりもやや遅く、8月27日に東灘区

岡本で1個体, 翌8月28日には, 東灘区魚崎東町の浜公園で1個体の鳴き声を聞いた。また同28日には, 東灘区住吉川公園で1オスの死骸を目撃, 灘区六甲道南公園では飛翔中の1個体を目撃したが, いずれも鳴き声は聞けなかった。それ以降は, 樹林の発達した垂水区苔谷公園で9月2日に2個体の鳴き声を聞いたほかはクマゼミの記録はなく, 市街地では8月下旬で終鳴と考えていた。

しかし, 9月23日になって魚崎南町の瀬戸公園内で1個体の鳴き声を聞いた。しばらくして少し離れた所からも鳴き声が聞こえたが, 同じ個体かは不明である。それ以降は仕事の都合により3週間ほど神戸を離れたため, 9月23日が実質の終鳴記録となる。

これまでの兵庫県からの終鳴記録としては, 10月中旬の飛び離れた記録は少数ある(近藤, 2014; 近藤・永井, 2018; 2019)が, 9月下旬以降の記録は少ないようである。

近藤伸一氏には本種の情報についてご教示頂いた。ここに厚くお礼申し上げる。

参考・引用文献

- 近藤伸一, 2014. みんなで調べよう セミの初鳴き, 鳴きおさめの日ー2013の記録ー. きべりはむし, 36(1): 4-7.
- 近藤伸一・永井英司, 2017. セミの初鳴き, 鳴きおさめの日ーみんなが調べよう2016ー. きべりはむし, 39(2): 1-6.
- 近藤伸一・永井英司, 2019. セミの初鳴き, 鳴きおさめの日ーみんなが調べよう2018ー. きべりはむし, 41(2): 6-13.

(Hiroshi YOSHIDA 神戸市)

ミカドアゲハ兵庫県内の記録3例

近藤伸一

最近兵庫県内でミカドアゲハ (*Graphium doson albidum*) の採集目撃情報が相次いでいる。ミカドアゲハは南方系のチョウで, 1980年当時太平洋側の分布は, 四国から紀伊半島海岸沿いに和歌山, 三重県にかけて点在し土着北限は伊勢市, 日本海側は山口県が北限であった。その後広島県を経て岡山県まで分布を拡大し, 2000年代には岡山県の各地で定着が確認されたが, 兵庫県での定着は確認されていない。

今回, 新たにいただいた情報と, 現在までに判明している兵庫県内の記録を報告する。情報をお寄せいただいた五十川謙, 大塚 昭, 奥山清市, 清水聡司, 森地重博の各氏にお礼申し上げる

1. 新たな記録

- (1) 2019年5月10日に宝塚市武庫山で波川光男氏が採集され, 箕面昆虫館の清水聡司氏から標本写真と記録を送付していただいた(図1)。宝塚市内では2例目の記録である。



図1 波川光男氏撮影。

- (2) 2020年5月14日昼過ぎに, 西宮市甲山森林公園内のみくるま池近くで, 阿部遥希さん(小3)と阿部翔太さん(6才)が採集され, 伊丹市昆虫館の奥山清市氏から写真と記録を送付していただいた(図2)。西宮市内では2例目の記録である。同公園では前年の8月27日で羽化不全の成虫が食餌植物であるタイサンボクの下で採集されており, 今回の個体は公園内で発生した可能性が高い。



図2 採集時の状況。

- (3) 2020年5月29日に芦屋市前田町の住宅地の中を低く飛翔しているミカドアゲハを(観察者)氏が撮影された(図3)。記録と写真は 大塚昭氏から送付していただいた。

2. 兵庫県内のこれまでの記録

1900年代 四国または和歌山から飛来したものと推定
淡路市(津名町)佐野, 1♂, 1958. 登日邦明採集(文献2)
淡路市(津名町)志筑明神, 2exs, 1964. 奥野修久採集(文献2)